

日吉キャンパス内にいるときに大地震が発生したら



※防災マニュアルもあわせてよく読んでください。

1. 地震発生:あわてない!まず、その場で自分の身を守る。

- (1) 周囲の窓・棚・天井などから、割れたガラスや物が落ちてきそうな場所からは離れる。
- (2) 机の下にもぐる、バッグや衣類などで頭を覆うなどして落下物から頭と手足を守る。
- (3) 余裕があれば、ドアを開け、出口を確保する。
- (4) 実験中で、火気や薬品を使用している場合は、担当教員の指示に従って行動してください。
- (5) エレベーターに乗っている時は、自動的に停止した階で降りる。閉じこめられた場合は、非常ボタンやインターフォンを押して外部と連絡をとり、救助を待つ。
- (6) 広場やグラウンドなど落下物の危険がない場所にいる場合はその場で座り込み揺れがおさまるのを待つ

確認ポイント

2. 揺れがおさまったら:自分のいる場所が安全かどうかを確認

- (1) 室内の備品やガラスが割れて散乱していないか、薬品が漏れて流れたりしていないか?
- (2) 建物の壁にヒビがはいったり壊れたりしていないか、傾いていないか?
- (3) 建物内で火災が発生していないか?

3. 今、どこにいるのか?

- (1) 各教室、来往舎、図書館、協生館、スポーツ棟、体育館にいる場合
⇒危険がない限り、原則として、本震、余震の場合も、建物内で待機する。
- (2) 塾生会館、藤山記念館、食堂棟にいる場合
⇒日吉キャンパス陸上競技場へ避難する。
※別紙避難経路図参照
- (3) 屋外にいる場合⇒日吉キャンパス内の避難場所へ避難する。蝮谷地区や下田地区の体育会運動施設を利用している場合は、あらかじめ各部として決められている避難場所へ避難する。

非常放送や教職員からの指示があったときは、その指示に従ってください。

4. 避難する時の注意点

- (1) 安全な避難ルートに従って、落ち着いて避難する。
- (2) 階段を使用して避難する。(エレベーターは絶対に使用しない!)
- (3) 押しあわず、走らないで冷静に避難する。パニックにならないよう、おたがいに声をかけながら避難する。
- (4) 途中で元の場所に戻らない。

5. 火災を見つけたらどうするか?

- (1) 火災を発見したら、大声で周りの人に知らせ、近くにある火災報知器のボタンを押す。
- (2) 火元から速やかに離れ、建物外へ避難する。

6. 停電したらどうすればよいか?

- (1) あわてない!
- (2) 授業中の場合は、教員の指示に従って避難する。
- (3) 避難の際には、懐中電灯や各自の携帯電話のライト機能を利用して、足元に気をつけながら落ち着いて避難する。

7. 交通機関が止まって家に帰れないときはどうすればよいか?

⇒歩いて帰宅が困難な場合は、学内で待機場所を用意するので、学内避難場所の係員に確認してください。

以上